

# くすのき教室での タブレット活用

LD/ADHD 通級指導教室（くすのき教室）

教科「自立活動」

## ●カメラ

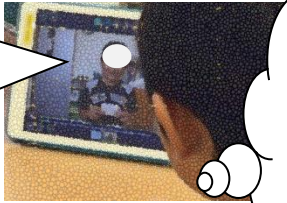
☆自分の活動のよかったところや改善点に自分で気づかせる。(写真・動画)

☆子どもの頑張りや上手になったこと、困っていることなどの情報を、担任の先生や保護者と共有し、よりよい支援に活かす。(写真・動画)

☆在籍学級で、板書を写真に撮り（現在は担任の先生が写真を撮っている。）、ノートやシートの横に置いて、それを見ながら書くことで、板書を写すことへの困難さを軽減する。(写真)

☆他の通級生とメッセージ交換をすることで、コミュニケーションの楽しさを味わわせたり、思いを伝える力を育んだり、学習への意欲を高めたりする。(動画)

漢字クイズの返事に、くって書いてくれてありがとう。うれしかったよ。



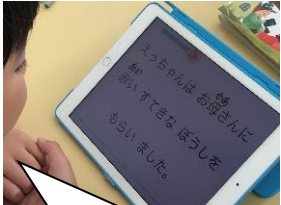
喜んでくれて、うれしいな。また、ほかほかことばを使って、メッセージを書こう！

## ●ロイロノート

☆教科書の挿絵や文章（1～2文ずつ）をカードにしたものを並べ替え、話の内容の理解につなげる。また、音読を録音し、聞くことで、よかったところや改善点に気づかせる。

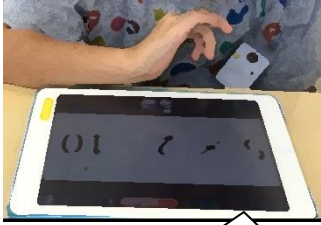


挿絵や文章カードを自分で並べ替えているところ

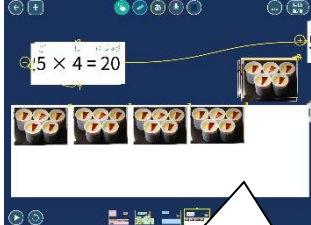


～のところは上手に読めたよ！間違ったところは印をつけて、もう一回録音しよう。

☆九九カードを読み、録音した声に合わせて練習し、九九の定着を図る。また、写真カードを操作して、掛け算の意味を理解できるようにする。



九九は苦手だけど、録音したり、自分の声の九九を聞いて練習したりするのは楽しいよ！



5 x 4は、1箱5個入りのプリンが4箱だから、プリンは全部で5, 10, 15, 20！5 x 4 = 20

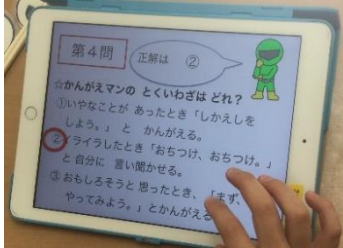
☆音声入力を使って、伝えたいことを文章に表すことで、文字の表記や文章にまとめることへの困難さを軽減する。(カードの色分けや並び替えができるので、文章の組み立ても考えやすい。)

## ●キーノート

☆教材を作り、導入や確認などに使い、学習への意欲を高めたり、視覚的に伝えることで内容の理解を促したりする。



カンジョウレンジャーからのクイズに挑戦するぞ！答えは2番かな？ヤッター、正解だ！



## ●その他学習アプリ

☆書くことへの困難さを軽減し、楽しみながら、文字や計算などの学習に取り組めるようにする。



「katakana」でなぞり書きの練習をしているところ

学習アプリは、目と耳で同時に情報を受け取れるので理解しやすい。また、その場で正誤がわかるので、同じ間違いを繰り返しにくくなる。

### 使用アプリ例



算忍一九九一

## ●成果と課題

○タブレットの活用が、学習に苦手意識をもっている子の学習への意欲や理解につながっていると感じる。  
 ▲今後は、子どもたちが「こんな時はこのアプリ（機能）を使って、こういう力をつけたい（伸ばしたい）。苦手さを補いたい。」と主体的にタブレットを使っていけるような力をつけていきたい。